

令和四年六月定例会議一般質問近藤純子

市民の生活を守る勝浦川・神田瀬川の浸水対策について

新風はなみずき **近藤 純子** 議員



答
早期完成に向け
県と連携し事業を推進する

近藤

要望していた、神田瀬川の未整備区間の取組状況は。

都市整備部長

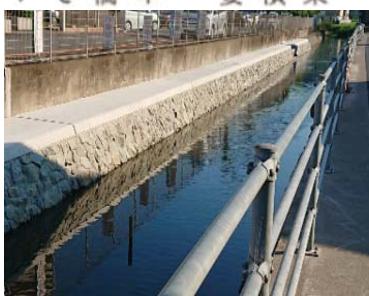
県道小松

近藤 勝浦川の洪水対策では、樹木の伐採、堆積土砂の撤去を引き続き要望するが、考えは。

メートル間の護岸工事が今年6月に完成予定。宮倉徳島線と交差の農業用水路は、流下能力確保の

要望して約2か年を目標にサ

トル区間で実施する。



完成された護岸



今後の勝浦川の整備区間

近藤 要望した神田瀬川支流の大瀬川と新堀川支流の広見川の治水対策の取組後の効果は。

近藤

都市整備部長 令和3年度に堆積土砂の掘削、樹木伐採、撤去の治水対策を行った。流域全体で最大限の効果を生むよう取り組みたい。

都市整備部長 令和4年度、勝浦川右岸の鉄道橋南側から野上橋付近までの延長約2・1キロメー

近藤 DX活用による市民サービス向上を

近藤

市でオンライン母

子健康相談が始まりデジタル技術を様々な分野に取り入れる必要がある。

DXを実現した業務改善、効率化に向けた取組は。

近藤

よりよい学校づくりに

向けた地域のコミュニティーアップとなるよう努める。

近藤

地域のつながりを

近藤

アピールとなるよう努める。

近藤

地域のつながりを

近藤

アピールとなるよう努める。